



門別国保病院からのお知らせ 在宅診療について

今年度より、当院では専属看護師2人を配置し、24時間体制で在宅で生活されている方のお役に立てるように待機しております。

病院や施設から出て自宅に戻って来たものの自宅での療養生活に不安を感じておられる患者さん・ご家族の不安をできるだけ緩和できるようにとの当院での新しい取り組みであります。

現在約70人の患者さんのお宅に病状に合わせて定期的または臨時に訪問させていただき、健康面のアドバイスをさせていただいております。(担当医師は吉田医師と谷井医師です)リハビリや服薬についての不安のある方には理学療法士や薬剤師が訪問し対応させていただきます。

中には高血圧や糖尿病などの慢性病だけではなく、脳梗塞の後遺症や難病などで通院が困難な方もおられます。以前にはご自宅で最期を迎えたいと希望された癌の患者さんのお看取りもさせていただきました。

今まで専門治療のため札幌や苫小牧まで通院されていた方もおられますが、専門的な治療に関してはほとんどの担当医の先生と相談しながら当院で治療を継続することも可能な状況であります。医療機関へ通院することが困難であり、往診等を希望される方が居られましたらまずは当院までご連絡・ご相談下さい。担当相談員がお話を聞かせていただきます。

これから更に病気とお付き合いされる方法が多様化する中での当院の体制にご理解を頂ければ幸いです。

胃・肺・大腸・前立腺がん検診及び歯科健診のお知らせ

今年度の日高地区でのがん検診は6月10日と11月12日の2回を予定しています。

年1回受診され、健康づくりにお役立て下さい。

11月の検診は、エキノコックス症検診・骨粗鬆症検診も同時に受けられます。

ご本人のご予定に合わせて受診日を選択下さい。

また、6月は歯の衛生週間でもあります、歯科健診も検査項目として実施します。

〈日 時〉平成21年6月10日(水) 受付時間①7:00～ ②7:30～ ③8:00～
④8:30～ ⑤9:00～ ⑥9:30～

〈場 所〉日高老人福祉センター

〈対 象〉40歳以上の方(前立腺がんは50歳以上の男性)

〈検診内容〉胃がん検診…バリウム検査 前立腺がん検診…採血
肺がん検診…胸部X線検査(必要時喀痰検査)
大腸がん…便潜血検査(自宅で便を採り持参)
歯科検診…むし歯や歯周病予防のための検査

〈料 金〉胃がん 1,600円 ・肺がん 500円(喀痰900円) ・大腸がん 800円
前立腺がん 2,000円 ・歯科健診 0円

※40歳の方(昭和44年生れ)、町民税非課税世帯・生活保護世帯の方は無料です。

課税状況を確認しますので、同意書の提出が必要です。

印鑑ご持参のうえ、総合支所へお越し下さい。

〈申込み・問い合わせ〉

日高総合支所 住民生活課 健康・保険・介護グループ

電話 01457-6-3173



保健福祉だより

◎保健福祉課
TEL01456-2-6183
◎日高総合支所住民生活課
TEL01457-6-3173

かかりつけ薬局を 持ちましよう

薬は1ヶ所のいつも同じ薬局で



□「かかりつけ薬局」ってどんな薬局のこと?

◎患者さんは、どの病院・診療所(医院)・歯科診療所で処方せんを受け取った場合でも自由に薬局を選ぶことができます。

自宅の近くやいつも行く商店街の薬局など、あなたがいつも利用する薬局が決まっているとすれば、その薬局のことを「かかりつけ薬局」といいます。どこの病院・診療所(医院)・歯科診療所にかかっても、同じ薬局で調剤を受けることが大切です。

す。
あなたが一番気軽に相談でき、信頼できる薬局「かかりつけ薬局」を決めましよう。

◎患者さんの薬の服用歴や体質(副作用歴やアレルギー歴)などを記録し、あなたが病院・診療所(医院)・歯科診療所で発行された処方せん(薬を受け取る時に、その記録と照合しながら調剤しますので、複数の病院・診療所(医院)・歯科診療所から薬がでている場合などの薬の重複や飲み合わせのチェックを簡単に行うことができます。

もし、あなたにとって服用すべきでない薬がでている場合などは薬剤師が 医師(又は歯科医師)と相談し、薬の変更や投薬取り消しなどを行います。

□「かかりつけ薬局」ってどんなことをするの?

◎薬の服用歴や副作用歴・アレルギー歴などの記録を作成し、その記録と照合して安全を確認しながら調剤します。

・薬の重複投与や飲み合わせによる副作用などの未然防止が図れます。

・市販薬や健康食品などとの飲み合わせも確認できます。
◎薬の服用について気をつけることを説明し、必要に応じて文書を出します。

◎受診したすべての病院・診療所(医院)・歯科診療所の医師(又は歯科医師)の発行する処方内容について詳しく知ることができます。

◎服薬指導(薬の飲み方、使い方、副作用など)をいつでも受けられます。

◎処方せん薬のみならず市販薬の副作用情報などを含め、健康に関する相談や情報提供が受けられます。

◎「かかりつけ薬局」を持つことによって、あなたが適正・適切に薬を使うことができます。健康な生活を送ることができます。

□「かかりつけ薬局」はどのように選べばいいの?

◎保険薬局、保険調剤、基準薬局、処方せん調剤、処方せん受付などの表示のある薬局では処方せんによる調剤を行っています。



次の4項目を満たしてくれる薬局をおすすめします。

- ①薬についてきちんと説明してくれる
- ②わからないことを気軽に相談できる
- ③必要に応じてお薬手帳や文書で情報が受けられる。
- ④信頼できる薬剤師がいる。

※薬剤師も医師と同様、患者さんの病気や服用薬などプライベートな事項は守秘義務がありますので、プライバシーを侵害されることはありません。

■「おくすり手帳」を持ちましよう。
(おくすり手帳は、薬局でもらえます。)

おくすり手帳には自分の飲んでいる薬等が記録され、重複投与や飲み合わせによる副作用を未然に防止でき、また、ふだん持ち歩くことで、自分の使っている薬を正確に伝えることができます。

■わからないことについては、静内保健所(電話番号0146-421-0251)に電話等でお気軽にお尋ねください。

毎月26日とねっこの湯口ビーで、10:00~12:00まで健康相談を行っています。
血圧測定や健康相談で、お気軽にご利用下さい。

(保健福祉課健康づくりグループ)

ゆい風呂の日
健康相談のお知らせ